

事業成果報告書

1. 申請者の概要等（複数者による共同申請の場合は、以下表を追加してください）

| | | | |
|-----------------|---|------|-----------------------|
| ふりがな 法人名(屋号) | | 創業年月 | 年 月 |
| ふりがな 代表者職氏名 | | 従業員数 | 名 (うちパート・アルバイト: 名) |
| 業種 | 大分類名: <small>(日本標準産業分類の大分類一覧を参照)</small> | 担当者名 | |

| (日本標準産業分類の大分類一覧) | |
|--|--|
| A - 農業、林業 B - 漁業 C - 鉱業、採石業、砂利採取業 D - 建設業 E - 製造業 F - 電気・ガス・熱供給・水道業 G - 情報通信業 H - 運輸業、郵便業 I - 卸売業・小売業 J - 金融業・保険業 | K - 不動産業、物品賃貸業 L - 学術研究、専門・技術サービス業 M - 宿泊業、飲食サービス業 N - 生活関連サービス業、娯楽業 O - 教育、学習支援業 P - 医療、福祉 Q - 複合サービス事業 R - サービス業(他に分類されないもの) S - 公務(他に分類されるものを除く) T - 分類不能の産業 |

2. 補助対象事業の区分

該当する事業の□に✓を入れてください（複数選択可）

ア ITツールの導入及び設備のIoT化

イ 作業効率の向上を目的とした機械設備の導入

ウ 作業効率の向上を目的とした非効率機械設備の更新

エ その他省力化に資する取組として必要と認めるもの

3. 商工団体・担当者

| | | | |
|-------|--|------|--|
| 商工団体名 | | 担当者名 | |
| | | 電話番号 | |

4. 補助事業の概要

次の各項目について、内容を具体的に記載してください。行は必要に応じて拡大して記載してください。

(1) 取組前の企業の現状と課題

〈企業の現状〉

〈課題〉

(2) 補助事業の概要と成果

〈実施内容〉

〈効率化等の成果〉 ※数値等を使用し、具体的に記入してください。

例)・急速冷凍冷蔵機の導入により仕込み作業の効率化が図られ、6時間かかっていた仕込み作業が4時間で可能となり、作業効率が50%アップした。(6時間÷4時間×100%=150%)

・非対面型受注システムの導入により省力化が図られ、人手不足が解消した。5人で従事していた業務が3人に対応可能となり、生産性が66%アップした。(5人÷3人×100%=166%)